

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-515133(P2000-515133A)

【公表日】平成12年11月14日(2000.11.14)

【出願番号】特願平10-504453

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 271/22

A 6 1 K 31/00

A 6 1 K 31/42

C 0 7 D 263/32

【F I】

C 0 7 C 271/22

A 6 1 K 31/00 6 0 3 L

A 6 1 K 31/00 6 0 3 N

A 6 1 K 31/42 6 0 1

C 0 7 D 263/32

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月28日(2004.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手続補正書

平成16年 6月28日

特許庁長官殿



## 1. 事件の表示

平成10年特許願第504453号

## 2. 補正をする者

氏名(名称) イーライ・リリー・アンド・カンパニー

## 3. 代理人

住所

〒540-0001

大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル

青山特許事務所

電話 06-6949-1261 F A X 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



## 4. 補正対象書類名 請求の範囲

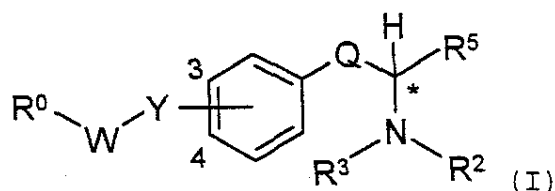
## 5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容  
別紙のとおり。

(別紙)

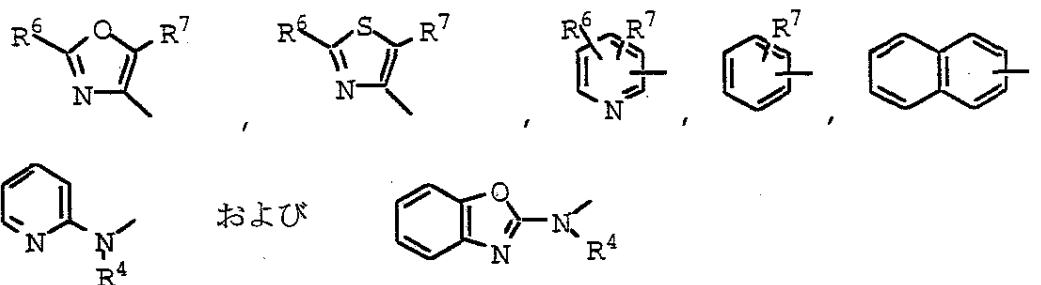
## 請求の範囲

1. 式I:



[式中、

Qは $-(CH_2)_p-$ および $-CH_2-O-CH_2-$ から構成される群から選択される；

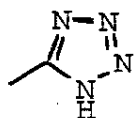
R<sup>0</sup>は

から構成される群から選択される；

R<sup>2</sup>はC<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>-アルキルアミノカルボニル、アリールカルボニル、アリールオキシカルボニル、アリールオキシ-C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>-アルキルカルボニル、アリールアミノカルボニル、アリール-C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>-アシル、アリール-C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>-アルコキシカルボニル、アリール-C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>-アルキルアミノカルボニル、アリール-C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>-アルキルスルホニル、およびアミノ保護基から構成される群から選択される；

R<sup>3</sup>およびR<sup>4</sup>は独立に水素またはC<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>-アルキルである；

R<sup>5</sup>は-COOH、-CONR<sup>10</sup>R<sup>11</sup>、-CN、-CONHOH、または



である；

R<sup>6</sup>は水素、C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>-アルキル、アリール、またはアリール-C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>-アル

キルである；

$R^7$ は水素、ハロゲン、または $C_1 \sim C_4$ -アルキルである；

$R^9$ は水素、 $C_1 \sim C_4$ -アルキル、またはアリールである；

$R^{10}$ および $R^{11}$ は独立に水素、 $C_1 \sim C_4$ -アルキル、またはアリールである；

Wは $-(CH_2)_n-$ である；

Yは3位または4位に結合し、およびYは $-O-$ 、 $-S-$ 、 $-SO-$ 、 $-SO_2-$ 、 $-NH-$ 、 $-CONR^9-$ 、 $-NR^9-SO_2-$ 、または $-SO_2-NR^9-$ である；

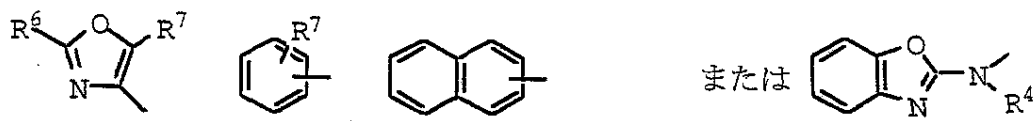
nは1から4までである；および

pは1、2、または3である]

で示される化合物またはその医薬的に許容される塩

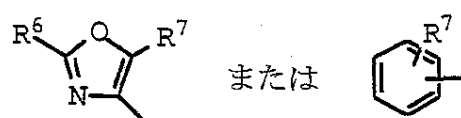
[但し、 $R^6$ が水素または $C_1 \sim C_4$ -アルキルのいずれかである時には、 $R^7$ はハロゲンであるものとする；および

但し、 $p = 1$ である時には、 $R^0$ は



であるかまたはその医薬的に許容される塩であるものとする]。

2.  $R^0$ が



であり；

$R^2$ がアリールカルボニル、アリールオキシカルボニル、アアリール- $C_1 \sim C_4$ -アルキルオキシカルボニル、またはアリール- $C_1 \sim C_4$ -アルキルスルホニルであり；

$R^5$ が $-COOH$ であり；

$R^7$ が水素、フルオロ、またはメチルであり；

Yが $-O-$ であり；

nが1または2である；

請求項1の化合物。

3. 活性成分として請求項1で請求する、式（I）で示される化合物を、医薬的に許容される添加剤1種またはそれ以上とともに含む抗高血糖用の医薬的製剤。